

普及活動情勢報告（令和7年4月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

基盤整備してみませんか？ ～J A高知県香美地区物部柚子生産部会座談会～



農地の基盤整備を
提案する普及指導員

3月24日、物部柚子生産部会座談会が開催され、生産者54名が参加しました。

座談会では、三役から部員に対して部会の動きなどを伝え、部員からは三役に対して部会への要望を上げています。

農業改良普及課は、基盤整備事業の説明を行い、「段が多くて狭い傾斜のある園地を、段をなくして作りやすい園地に見ませんか」と呼びかけました。

生産者からは「工事が終わるまでどのくらい時間がかかるのか」といった声が聞かれました。

今後は、今年度から始まる基盤整備の進捗状況を部会へと共有するとともに、引き続き園地拡大に向け基盤整備事業を周知し、流動化支援を行っていきます。

包装形態の変更に対してどう思いますか？ ～十市ししとう部会～



機械による包装試験の
作業動画を見る生産者

3月27日、南国市十市で十市ししとう部会が開催され、生産者、関係機関職員を含む15名が参加しました。

部会では、出荷規格の目慣らしや春先の腐敗果対策、J A高知県が取り組んでいる新たな包装形態への変更について情報共有が行われました。

農業改良普及課は、包装試験に至った背景や概要を説明し、機械による包装試験の動画を生産者に見てもらい意見を聞き取りました。

生産者からは「パック詰め作業員を確保することが難しく、早く実用化して欲しい」「思ったより作業人数が必要そう」といった意見が出されました。

今後も包装試験の進捗状況を共有するとともに、個選地区における取組の方向性を生産者や関係機関と検討していきます。

暑さに負けないトマト作りを勉強しよう！ ～フルーツトマト部会全体会～



高温障害について
説明する普及指導員

3月28日、J A香美地区園芸部フルーツトマト部会で全体会が開催され、生産者14名が参加しました。農業改良普及課からは、トマトの高温障害や光合成などの植物生理の基礎について説明しました。

参加者からは、「昼間の気温は気にしていたが、夜温は今回初めて意識した」、「去年の気温を見たら定植時期を遅らせるべきか」などの声が聞かれました。

今回、全体会の中で初めて勉強する機会を設けたことで、次作に向けて部会全体で考える良い機会となりました。

農業改良普及課は、今後もJ Aと連携して、フルーツトマトの生産安定に向けて支援します。

高品質な米生産に向けて ～奨励品種決定調査～



協力して
田植えをする様子

4月9日、南国市の生産者ほ場において、奨励品種決定調査の田植えを行いました。

田植えは生産者、J A 営農指導員、農業改良普及課で協力して行い、高温耐性が期待できる試験系統を含む4品種の田植えを行いました。

生産者からは、「去年は高温によって品質が落ちたので、高温に強い新しい品種ができることを期待している」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も生産者や関係機関と連携して調査を行い、高知県の気候に適した品種の普及を支援していきます。

ハダニ対策に天敵を利用しませんか～ J A 高知県香美地区果樹部温室みかん部会～



現地研修会の様子

4月16、17、21日に J A 高知県香美地区果樹部温室みかん部会が支部毎に現地研修会を開催し、23名が参加しました。

園地を巡回した参加者からは「今年はミカンハダニの発生が多い」「天敵を使うとミカンハダニをどのタイミングで薬剤防除するのか難しい」といった意見がありました。

農業改良普及課からは、ミカンハダニ対策として天敵活用方法を紹介し、天敵利用時に使用可能な薬剤を周知しました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携してハウスミカンの高品質生産を支援します。

女性活躍推進！～中央東地区農村女性リーダー協議会総会を開催～



令和6年度の活動実績を
報告する
農村女性リーダー

4月18日、中央東農業振興センターで中央東地区農村女性リーダー協議会総会を開催し、農村女性リーダー14名が参加しました。協議会役員から、3つの議案（令和6年度の活動実績及び決算報告、令和7年度の活動計画及び予算、役員改選）について説明があり、全て承認となりました。

協議会事務局を務めている農業改良普及課から、農村女性リーダーの推薦に関することと、農村女性リーダーが日頃活動するうえで、農作業安全や労働環境改善に取り組んでいただけるよう意識啓発を図りました。参加した農村女性リーダーから、女子トイレの整備について質問があり、関連事業への関心を高めることができました。

引き続き、農業改良普及課では、農村女性リーダーの活動が円滑に進むようサポートします。